



刊夕日八月九

常盤論壇
都會熱を戒む
田中五郎

承前

若し是等の人々が郷土に歸るとすれば郷土に於て十分生活の方法は樹つのである

故に今日の如き時勢に於ては都會に於て職を失へる地方人は速かに地方に歸り時機を見て再び都會地に來る事を心掛けて貰ひたいものである

尙是と同時に地方人は徒らに都會生活に憧憬する事をやめて靜かに地方開發の爲めに骨折つて貰ひたい都會は決して地方人の想像する如く生活の安易な場所ではない

殊に今日の如き時期に於ては出來るだけ都會流入を見合せる事が必要である

今回六大都市の土木事業が始まる場合は幾分此の難は緩和されやうが決して是に依つて失業者の全体が救

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎文庫

電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

定価 一部金貳圓
郵税五厘
廣告料 五字一圓
印刷費 五字一圓
休刊日 日曜・祭日・臨時休業日
印刷所 本報印刷部

霜降小倉 通學服

寸法各種 澤山收揃

あかや洋服店 電話二〇三番

常盤文藝
みごりの街 水戸さよろ

◎街路樹のしげみまきりて さやさやに朝の電車の窓にさやも

◎赤きひの下にたゞすみ電車まつ若き女のあほまよこ顔

◎苦學する女かもあらむ夜ふかき電車の内にも本よみてあり

◎教室の窓より見ゆるあかじやの眞澄の空にゆるるさびしさ

◎試験終へてつかれおぼゆる我みをばさみこみつゝも灯の街に出づ

◎にぎはじき夜の街ゆけば何がなし湧くさびしさのすてごころなし

◎ぼつねんと大海原の唯中にたゞすみ如き淋しさのあり

親切第一 營業課目

裝飾器具 電球・電線・ベルト類

芝浦(モートル)特約店 日立(トランス)特約店

電話機及各種乾電池 通信用器具 電機並諸機械修繕 致マス

福島縣平郡平町 平野商業會社 電話二一〇番

アピライム 自轉車

購買會ハ 第一回 七十一台 第二回 八十二台 第三回 百十四台

フ戴キマシテ未ダ一回ノ御批難モ戴キマセン

「同自轉車ノ眞價ハ一度乗ツタ御方ニ御聞キ下サイ」今回ハ第四回日テス現品先渡モ御相談シマス

是非御入會ヲ願ヒマス

エビスヤ自轉車店

平町銀田町

金成醫院

外科内科 産婦人科 花柳病科

金成忠義 電話三五八番

電話開設御披露

番號	町名	氏名
六四二	丁目	大平屋藥舖
六四六	見町	米穀商醬油味噌醸造元 根本品藏商店
六三〇	長橋町	常盤毎日新聞社

今般電話架設開通仕候間是非御利用の上倍舊の御愛顧御引立の程奉懇願候

代價拾錢 藤田家傳

目明丹

藤田榮助 平町電話三六番

カフエースズラン 電話一四五番

用粧化オ 驗石ニクカ 錢十個壹

平町四丁目 ツルヤ 電話百四十

公周旋業 電話七〇三番

滑川敏之補 平町新田町

柏傳の 企刺子ト染物 柏屋染物店

看護婦派出所 町南町 電話三〇七番

平看護婦會 電話三〇七番

内科・胃腸科・婦人科 十二指腸虫病科 花柳病科・光線科

平町南町電話一〇七番

松村病院

内科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科

平町電話五二三番

高久病院

内科・外科・花柳病科 耳鼻咽喉科・婦人科

平町電話四七五番

赤心堂病院

濟されるものではない

六大都市に事業が開始されることを見當として地方人が都會に流入する事となれば政府の目的は破壊されねばならぬ

(終り)

平町の中心は…… 南方に移動するか

主なる建造物が

續々新築される見込み

平郵便局移轉新築について、は仙臺通信局に於てその後順調に進捗し既に敷地選定その他具体的計劃に着手したといふが、移轉場所は郡役所の西方部に決定したらしく、地方よりの

寄附金

の決定次第

起工の運びに至るべく一方町役場屋舎の移轉改築は縣よりの緊縮方針の示達に崇られて町當局も逡巡してゐたが、何分にも現在の狹隘腐朽せる現廳舎を以て永く堪へられるべくもないので伏見

町長は

近く新築豫

算を作り町會に諮つてこれが實現に努力せんとするもの、如く尙ほ石城訓盲院豫算敷地も決定しこれが設計を急ぎつゝあれば出來次第着工する筈で是等平町中心建造物は南町裏に移り

將來は

過般設定せ

られた支線道路を中心として目醒しき發展をみるべく目下新築を急ぎつつある小名濱商會社の工事請負になる埋立地に對しても早くも借地申込みが殺倒する有様で此處二三年中には市街地として立派なる

街區

なるべくた

めにその一圓は著しく地價上昇してゐるが目下工事中

の六本の支線道路の完成と共に南町一帯の發展は期して待つべくかくて同町の市制施行も間もなく實現せらるゝであらうと

敵せずと見て

遂に奥の手

石城の多議戰

石城郡に於ける多額納稅議員の選舉は政友派が十五名の有権者中大平兵吉氏の一票を除く以外はすでに全部獲得したので橋本派では是非攪亂を敢えて爲さんと大げさな運動を開始し某々方面にソロ／＼奥の手を出し始めたから政友派も油断を許されぬ状態であるといふにらめられて

眠つたのが

不覺の基へ

平町五丁目物江某は六日午後九時三十分平驛着下車せんとした際傍に置いた現金三十六圓二十錢その他手形數枚在中の風呂敷包みを何者にか窃取され蒼くなつて平警察署に届け出たが傍に乗り合せた年齢四十歳の洋服姿の紳士體の男は泉驛邊より鋭く眼光を以て物江の身邊をじろ／＼と睨めるので油断のならぬ奴と警戒しゐたがいつしか旅の疲



家庭欄

食器洗ひ方

硝子類または磁器でも地面のなめらかなものは、容易に磨くことが出來ますが、これと反對に地面の凸凹の

れに眠氣をさしそのまゝ熟睡してしまつたその間に窃取されたらしいと

鹿島春蠶品評 石城

病勢俄かに革まり

齊藤醫學博士危し

博士號を擔つてから

一度も郷里の土を踏まずに

平町研町齊藤榮吉氏の養子(舊姓川角)豊氏が獨逸に留學して醫學博士の榮冠を擔ひ本年春歸國せるは既記の如くであるが歸國の途次船中にて強度の神經衰弱に胃

され身心の自由を失するに至つた爲の回復を待つて歸郷すべく大森の親戚方にて靜養中漸次快方に向へ本月下旬には平町に錦衣を飾る事が出來るであらうと傳へられて居た處昨夜來俄かに病勢重なり危険な状態に陥つた爲め今朝急電に接せる

齊藤家からは留守を守つて居たトシ子夫人が午前九時廿八分平驛發上り列車にて取るものも取りあえず急據出發した

左程でない

玉川村の稻作

石城郡玉川村は郡内の水害地と目され本年の如く數回に亘つて浸水ありし際は到底稻作の満足は期し難く村民の憂慮する處であつたが最近出穂の状態に依ると左程の被害もなく好成績の模様である爲め昨今漸く愁眉

ものはなかく綺麗になりませんが、銅または釜に食器を被ふ位水を入れ適宜に曹達を入れて煮ます煮湯の自然に冷めたる時洗ひ、後清水にてそゞぎ天日に乾かします。このやうに致しますと、一つ宛磨く手数が省けて容易に綺麗になります。誠に奇妙であります。

不景氣乗つ切りに

常磐各炭礦の自衛策

出炭制限や合同其他

不景氣の乗切り策として常磐各炭礦は具體的な自衛を研究することゝなつてゐるが有力なる某氏は其手段として

左の如き

方法を講

ずるを以て最も時宜に適切なものではないかと云つてゐる。

一、出炭制限 二、小炭

鑛休止 三、炭鑛の合同

而して第一の出炭制限は鑛社に行はれたことがあるが各社の出炭高は夫々

實際以上 多く見

積られてゐたため何等功を奏さずに終つた。今回の出炭制限は右の如き放漫なも

自動車の需

用が日増に多くなるにつれ

自動車の關聯する事故の多いのには流石のみ署も頭痛鉢巻の態とあるが、一英

のでなく若し規約に違反した者があれば之を罰するとか聯合會から

除名する

とか厳格なる規律を守らねばならぬものではない、次に小炭鑛の休止であるが之を實行するには先づ補給方法を考へなければ

國醫學雜誌の調査したところによると、自動車の事故の重なる原因の一つは、運転手が疲勞の餘り、いつとはなしに居睡りをするからであるといふ。

ばならないので之は仲々困難である最後に炭鑛合同問題は鑛業の統一、經費の節約の二つから云つて是非とも行はねばならぬ問題である、併し炭山の異なるに依つて合同條件も

むづかしい又合同しても無意味のものもあるからさし當り合同の可能性あるものから行ふより外はない

神谷青年總會

石城郡神谷村青年團にては來る十一月午後二時より同村小學校にて總會を開き終つて

手を意識が沿道の單調で無刺戟なことの爲に、一層急激に芒漠となつて兎角錯覺を起し易いからである、これは多くの醫師が自ら自動車運転して親しく経験してゐる心理状態ださうである

を開く事が出來たと

娼妓獨心中

戀に破れて

平町鎌田遊廓甲子樓娼妓百合井事岩瀬郡生れ小林セキ(二)は七日午後七時頃猫イラズをのんで自殺を企て生命危篤である原因は磐城炭鑛自動車運轉手某と戀中に陥つたが二ヶ月以前に運轉手は上京した儘音信不通である爲め世を果敢むに至つたものにて居間には遺書數通を残したと

兎の耳

毛谷村字本郷二四

三小峰喜一(三)は其義兄に當る比留間辨次郎(三)を自宅に招いて御馳走した末辨次郎の懐中の温かそうなのに慾が出て其歸る途中で十丸入の財布を強奪した事件は、東京控訴院刑事一部沼裁判長の係りで審理中の處五日徵役五年を言ひ渡された

尚ほ新物は直に水から煮る事が必要です。何となればかくすれば第一に消毒になり、それから熱い湯の中に入れ、又は湯を器に入れましても破損する憂ひはありません。煮る程度は水から煮て十分間位沸騰させますそして自然に湯を冷ます事が肝要であります